令 和 6 年 度

養 護 教 諭 専 門

（この問題は、全部で7ページです。）
時間は50分間です。
解答は、別紙の解答用紙に記入しなさい。

受験番号		氏名	

1　日本学校保健会「学校保健の課題とその対応　―養護教諭の職務等に関する調査結果から―令和２年度改訂」に基づいた養護教諭の役割について以下の問いに答えなさい。

(1)　次の文はこれからの学校保健に求められている養護教諭の役割について述べられている部分である。（　①　）～（　④　）に当てはまる語句を答えなさい。

1. 学校内及び地域の医療機関等との連携を推進する上で（　①　）の役割
2. 養護教諭を中心として関係教職員等と連携した組織的な健康相談、（　②　）、保健指導の充実
3. 学校保健センター的役割を果たしている保健室経営の充実（保健室経営計画の作成）
4. いじめや児童虐待などの児童生徒等の心身の健康課題の早期発見、早期対応
5. 学級（ホームルーム）活動における保健の指導をはじめ、T・Tや兼職発令による（　③　）への積極的な授業参画と実施
6. 健康・安全にかかわる危機管理への対応
   救急処置、心のケア、アレルギー疾患、（　④　）等
7. 専門スタッフとの連携協働

(2)　「保健室経営」について中央教育審議会答申（平成２０年１月）では、次の様に述べている。［　A　］［　B　］に当てはまる語句を答えなさい。

保健室経営とは、当該学校の教育目標及び学校保健目標などを受け、その具現化を図るために、保健室の経営において達成されるべき目標を立て、［　A　］・［　B　］に運営することである。

2　日本学校保健会「児童生徒等の健康診断マニュアル　平成２７年度改訂版」に基づいた学校における健康診断について以下の問いに答えなさい。

(1)　次の文章は学校における健康診断の目的と役割について述べられている部分である。（　①　）～（　③　）に当てはまる語句を以下の語群ア～クからそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

> 学校保健安全法では、学校における児童生徒等の健康の保持増進を図るため、学校における（　①　）について定めており、学校における健康診断は、この中核に位置する。また、学習指導要領解説特別活動編において（　②　）・体育的行事として例示されており、（　③　）として実施されているという一面も持っている。

ア　保健教育	イ　学校保健活動	ウ　保健行事	エ　健康安全
オ　健康教育	カ　教育活動	キ　儀式的行事	ク　保健管理

(2)　学校における健康診断には大きく二つの役割がある。二つの役割について答えなさい。

(3)　検尿において尿糖が陽性であった児童が専門医を受診後、保護者から以下のような連絡があった。この児童の考えられる診断名を答えなさい。

> 血糖検査を行ったところ血糖値は正常であり、医師からは「腎臓のブドウ糖排泄閾値が低い、尿に糖が出やすい体質である。」と言われた。この子の姉も同じ診断を受けたことがある。

(4)　次の項目は学校保健安全法施行規則の健康診断について規定されているものである。以下のＡ、Ｂ、Ｃに当てはまる名称を答えなさい。

> 学校保健安全法施行規則
>
> 第二章　健康診断
>
> 第一節　［　Ａ　］の健康診断（第三条・第四条）
>
> 第二節　［　Ｂ　］の健康診断（第五条　―　第十一条）
>
> 第三節　［　Ｃ　］の健康診断（第十二条　―　第十七条）

3　日本学校保健会「学校において予防すべき感染症の解説（平成３０年３月）」に基づいた学校において予防すべき感染症について以下の問いに答えなさい。

(1)　以下の文章の中から正しいものを二つ選んで記号で答えなさい。（完全解答）

ア　スタンダード・プリコーションとは標準治療法のことである。

イ　オートクレーブは乾熱滅菌器のことである。

ウ　便や吐物の付着した箇所は0.01％次亜塩素酸ナトリウム消毒液で消毒する。

エ　ノロウイルスの消毒に対しては、アルコール消毒では十分な効果が得られない。

オ　芽胞（胞子）を作る病原体は乾熱滅菌では十分に滅菌できないことがある。

(2)　以下の文章の中から正しいものを二つ選んで記号で答えなさい。（完全解答）

ア　髄膜炎菌性髄膜炎は学校保健安全法施行規則で第二種感染症に定められている。

イ　流行性角結膜炎は学校保健安全法施行規則で第二種感染症に定められている。

ウ　風しんの出席停止期間はすべての発しんが痂疲化するまでである。

エ　百日咳の出席停止期間は特有の咳が消失するまでである。

オ　咽頭結膜熱の病原体はアデノウイルスである。

(3)　以下の文章の中から間違っているものを二つ選んで記号で答えなさい。（完全解答）

ア　学校保健安全法施行規則では、必要な予防接種を受けるよう指示することが規定されている。

イ　流行性耳下腺炎は定期予防接種の対象疾患である。

ウ　ジフテリアは定期予防接種の対象疾患である。

エ　風しんの感染経路は主として空気感染である。

オ　麻しんは一般的に有効な治療薬がなく、対症療法がおこなわれる。

4　文部科学省「改訂『生きる力』を育む小学校保健教育の手引」（平成３１年３月）」に基づいた保健教育について以下の問いに答えなさい。

(1)　次の文章は「小学校の保健教育」について述べられている部分である。（　①　）～（　③　）に当てはまる語句を答えなさい。

> 小学校の保健教育は，教育課程においては，体育科（　①　）を中心とした教科，（　②　），（　③　）などで構成されている。

(2) 次の表は保健教育の指導方法の具体例を示したものである。A～Dに当てはまる指導方法の名称を答えなさい。

指導方法	健康課題やその解決方法に関する具体的な活動	期待される資質・能力等の育成	活用例
A	様々なアイデアや意見を出していく	・思考力，判断力，表現力等の育成 ・知識の習得	・健康な生活や病気の予防の要因 ・不安や悩みへの対処方法
B	実物等を用いて体を動かす	・思考力，判断力，表現力等の育成 ・知識及び技能の習得	・けがの手当て ・不安や悩みへの対処
C	健康課題に直面する場面を設定し，当事者の心理状態や対処の仕方等を疑似体験する	・思考力，判断力，表現力等の育成	・けがをしたときの大人への知らせ方 ・喫煙，飲酒の防止
	実情を見に行ったり，人々に質問したりする	・思考力，判断力，表現力等の育成 ・学びに向かう力，人間性の育成	・保健室の役割 ・地域の保健機関の調査

5 学校生活におけるアトピー性皮膚炎について以下の問いに答えなさい。

(1) アトピー性皮膚炎の治療には三つの大きな柱があり、一つは「悪化因子への対策」である。あとの二つについて答えなさい。

(2) アトピー性皮膚炎を悪化させる要因として、すべての患児に共通するものと、患児ごとに異なるものがある。すべての患児にとっての共通悪化要因について二つ答えなさい。

(3) 乳児期にアトピー性皮膚炎や食物アレルギーを発症し、幼児期に気管支喘息、その後、アレルギー性鼻炎やアレルギー性結膜炎などを順番に発症する様子を何というか答えなさい。

6 次のような状況にある生徒への対応について以下の問いに答えなさい。

> 4時間目、中学3年生の男子生徒Aが腹痛を訴えて来室した。3時間目までは元気で体育の授業も受けた。痛みが始まったのは少し前からと話す。来室時のバイタルサインは正常だったが、腹部を見ると打ったような跡があり、その部分を押すとかなり痛みを訴えた。徐々に顔面蒼白となってきた。そこに「休み時間にAが友だちとけんかをして腹部を蹴られていた」という生徒Bからの話を聞いた担任が心配して急いで来室した。

(1) この状況から推測される生徒Aの傷病名を一つ答えなさい。

(2) この他に出現している、もしくは今後出現すると考えられる症状を二つ答えなさい。

(3) 養護教諭として行うべき応急処置とその対応について簡潔に説明しなさい。

7 日本学校保健会「教職員のための子供の健康相談及び保健指導の手引 令和３年度改訂」に基づいた学校における健康相談について以下の問いに答えなさい。

(1) 次の文章は「学校における健康相談の対象者」について述べられている部分である。（ ① ）～（ ④ ）に当てはまる語句を以下の語群ア～コからそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

1 （ ① ）の結果、継続的な観察指導を必要とする者。
2 保健室等での児童生徒の対応を通して（ ② ）の必要性があると判断された者。
3 日常の（ ③ ）の結果、継続的な観察指導を必要とする者。
4 健康相談を希望する者。
5 （ ④ ）等の依頼による者。
6 学校行事に参加させる場合に必要と認めた者。

ア 健康観察	イ 心理検査	ウ 学校医	エ 管理職	オ 保護者
カ 健康診断	キ 出欠状況	ク 保健指導	ケ 健康相談	コ 受診

(2) 「健康相談」は中央教育審議会答申（平成２０年１月）において、５項目に整理された「養護教諭の職務」の一つである。この他の４項目のうち二つを答えなさい。

(3) 次の文章は「基本的な相談技術及び留意点」について記載されたものである。正しいものには○、誤っているものには×をつけなさい。

① 児童生徒や保護者が話しやすく、受容的で温かい雰囲気づくりに努める。
② 対面で座るのは避け、横並びに座ると緊張が和らぐ。
③ 相談時間は３０分以上を基本として、短時間で終わらないように工夫をする。
④ 相談における基本的姿勢は、相談者の気持ちを受け止め、相手の話をよく聞こうとすることである。
⑤ できるだけ、先入観にとらわれないようにし、相談者の立場に立って話を聞く姿勢に心がける。
⑥ 相談者の話を受容的に聞くだけとして、途中で質問はせず、最後に気持ちを確認する。
⑦ 相談は児童生徒や保護者との良好な信頼関係を築くことが大切である。
⑧ 相談は児童生徒を理解し、こちらの考えた解決策を提示し、それを行うよう指導する。
⑨ 守秘義務については保護者に伝える。
⑩ 児童生徒は、学校での様子と家庭での様子が異なる場合があることを認識する。

8　次の文章は、「中学校学習指導要領解説（平成２９年告示）保健体育編」の中の「(1)　健康な生活と予防（オ）感染症の予防」の知識について述べられている部分からの抜粋である。これについて以下の問いに答えなさい。

(1)（　①　）～（　⑧　）に当てはまる語句を以下の語群ア～ソからそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。(同じ番号には同じ語句が入る)

（オ）感染症の予防

㋐　感染症の予防

感染症は，病原体が（　①　）を通じて主体へ感染することで起こる疾病であり，適切な対策を講ずることにより感染のリスクを（　②　）することができることを，例えば，結核，コレラ，（　③　）による感染性胃腸炎，麻疹，風疹などを適宜取り上げ理解できるようにする。

病原体には（　④　）やウイルスなどの微生物があるが，（　⑤　），湿度などの自然環境，住居，人口密度，交通などの社会環境，また，主体の（　⑥　）や栄養状態などの条件が相互に複雑に関係する中で，病原体が身体に侵入し，感染症が発病することを理解できるようにする。その際，病原体の種類によって（　⑦　）が異なることにも触れるものとする。　　～（中略）～

㋑　エイズ及び性感染症の予防

エイズ及び性感染症の増加傾向と（　⑧　）の感染が社会問題になっていることから，それらの疾病観念や　（　⑦　）について理解できるようにする。また，感染のリスクを（　②　）する効果的な予防方法を身に付ける必要があることを理解できるようにする。

ア　ウイルス	イ　細菌	ウ　ノロウイルス	エ　ヘルペス	オ　予防
カ　環境	キ　体力	ク　感染経路	ケ　抵抗力	コ　男性
サ　女性	シ　青少年	ス　気温	セ　温度	ソ　軽減

(2)　波線部「性感染症」の一つで、厚生労働省が発表した報告者数（平成１１年度以降）において、平成２５年ころから全国的に増加しており、令和元年度は減少に転じたものの、令和３年度に過去最多となった性感染症を答えなさい。

9　日本学校保健会「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン　令和元年度改訂」に基づいたアレルギー疾患について以下の問いに答えなさい。

(1) 次の文章は「アレルギー疾患とその取組」について述べられている部分である。（　①　）～（　⑤　）に当てはまる語句を以下の語群ア～ソからそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。(同じ番号には同じ語句が入る)

> アレルギーとは、本来人間の体にとって有益な反応である（　①　）が、逆に体にとって好ましくない反応を引き起こすことです。
>
> 最も頻度が多いのがIgE抗体（（　②　）の一種）によるアレルギー反応です。いわゆる「アレルギー体質」の人は、花粉や食べ物など本来無害なもの（これらがアレルギーの原因になるとき［　A　］と呼ばれます。）に対してIgE抗体を作ってしまいます。そして、その［　A　］が体の中に入ってくると、皮膚や（　③　）にあるマスト細胞というアレルギーを起こす細胞の上にくっついているIgE抗体と反応して、マスト細胞から体にとって有害な症状をもたらす（　④　）などの物質が出て、じんましんや（　⑤　）、くしゃみや鼻水などのアレルギー反応を起こしてしまうのです。

ア	体質	イ	IgA抗体	ウ	抗体検査	エ	免疫グロブリン	オ	発疹
カ	鼻炎	キ	かゆみ	ク	交差反応	ケ	免疫反応	コ	アレルゲン
サ	粘膜	シ	体内	ス	メラトニン	セ	アドレナリン	ソ	ヒスタミン

(2) ［　A　］に当てはまる語句を答えなさい。

(3) いわゆる花粉症について、アレルゲンとなる代表的な花粉の例を二つあげて、説明しなさい。

※は記入しないこと

コーディネーター	②	健康観察
保健教育	④	感染症
計画的	B	組織的

ｱ	②	エ	③	カ	

に当たり支障があるかどうかについて疾病をスクリーニング
把握するという役割

康課題を明らかにして健康教育に役立てるという役割

腎性糖尿

就学時	B	児童生徒等
職員		

エ ・ オ （完全解答）

ア ・ オ （完全解答）

イ ・ エ （完全解答）

保健領域	②	特別活動
的な学習の時間		
インストーミング	B	実習

		・唾液，あせ，髪の毛などが接触する刺激
	（3）	アレルギーマーヲ
6	（1）	腹部打撲・腹部外傷・腹部損傷・腹 （腹部臓器：肝臓・脾臓・膵臓・腎臓
	（2）	打撲痕・嘔吐（吐気）・発汗（冷汗）・腹膜刺激 腹部の腫れ・左肩への放散痛・血尿・意 ショック症状（心拍数・呼吸数の増加，血圧
	（3）	・衣服をゆるめ，腹部を圧迫しないようにする。 ・嘔吐物での窒息防止のために回復体位（または腹部の痛 ・すぐに救急搬送をする。 （飲水・腹部のマッサージや腹部の温罨法や冷罨法は禁忌

7	（1）	①	カ	②	ケ	③	ア	
	（2）	保健管理・保健教育・保健室経営・保健組						
	（3）	①	○	②	×	③	×	
		⑥	×	⑦	○	⑧	×	
8	（1）	①	カ	②	ソ	③	ウ	
		⑥	ケ	⑦	ク	⑧	シ	
	（2）	梅　毒						
9	（1）	①	ケ	②	エ	③	サ	（
	（2）	アレルゲン						
	（3）	・　花粉をアレルゲンとして起こる①季節性のアレル 総称　（①②が入っていてそれぞれ1点） ・　アレルゲンの例は　スギ，ヒノキ（ヒノキ科花粉）						